



ROKKO NEWS

<http://www.rokkorugby.com>

特定非営利活動法人
六甲クラブ

ROKKO WAY! 谷・六甲、抽選で涙



六甲、紙一重のノーサイド。第24回全国ラグビーフットボール大会の準決勝は2月5日、愛知県名古屋市のパロマ瑞穂ラグビー場で行われ、4年ぶりの日本一を目指した六甲ファイティングブルは前回王者の神奈川タマリバと激突。試合は両者とも一步も引かぬ激闘で、10-10と勝負がつかぬままノーサイドとなった。試合後の抽選の結果、決勝への出場権は無情にもタマリバに与えられ、六甲ファイティングブルは2年前に続き、またしても無敗のままシーズンを終えることとなつた。

六甲ファイティングブル									
10					10				
(0 10)					(5 5)				
T	G	P	G	P	T	G	P	G	P
1	0	5	1	0	1	0	5	1	0
0	0	10	0	0	0	0	0	0	5
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
F	B								
神奈川タマリバ									
(2月5日) パロマ瑞穂ラグビー場									

第24回全国クラブ大会 準決勝

リベンジの舞台は整つた。昨年と同じ全国大会準決勝、同じパロマ瑞穂ラグビー場。そして相手は同じ神奈川タマリバクラブ。この1年間、この日のために多くのものを積み重ねてきた。谷主将がゲキを飛ばす。このジャージを着られない仲間たち、支えてくれる人たちのためにも80分、走り切ろう。年ぶりの決勝進出に向けて六甲戦士が雨の瑞穂に飛び出した。絶対に勝つぞ!「4オフ。冬の雨でピッチはぬかるみ、互いに近場での勝負が多くなった。木だ。前半8分、タマリバの厳しい突破口を切り開いたのは六甲WTB三木だ。前半8分、タマリバの厳しい

主将はもう一度チームを

いつきり楽しもう!」谷

間がないことを確認し

た。当の勝負はここから。思

うが、まだ。前半8分、タマリバの厳しい

主将はもう一度チームを

いつきり楽しもう!」谷

間がないことを確認し

た。当の勝負はここから。思



桜の2戦士が熱血指導!

廣瀬俊朗氏 伊藤鐘史氏来る!!

六甲クラブの地域貢献活動事業「六甲ラグビークリニック2017」が、3月12日、神戸市灘区の六甲学院中・高校グラウンドで行われた。クリニックには兵庫県ラグビースクール、報徳学園中学校ラグビー部、灘中学ラグビー部、

二ツ目の特別講師として、元日本代表主将の廣瀬俊朗氏と、15年W杯にも出場した伊藤鐘史選手（神戸製鋼）の2人の桜戦士を迎え、六甲クラブの選手もサポート役として参加、実技・座学と濃密な時間を過ごした。

「みんなと会うのを楽しみにしてました！たくさん楽しまましょう！」と、廣瀬、伊藤選手の元気ある挨拶から始まったクリーツ。まずは「人數合わせ」などゲーム感覚でウォーミングアップ。初めて参加する生徒たちも笑顔でコミュニケーションを取りながら打ち解けていく。

次にFW・BKに分かれてのユニット練習。FWは伊藤選手、BKは廣瀬選手が担当した。FWはブレイクダウン（接点の攻防）に焦点を当て、「相手からずらしてヒット、レッグルドライブ、ロングリース」とわかりやすくポイントをあげて指導。六甲メンバーもタックルダミーを持って台になつてサポートする。BKはサッカーボールやアメフトのボールを使ってハンドリングスキルの練習。いつもと慣れないボールを扱う難しさに各所に珍プレーが続発したが、生徒たちは呑み込みが早く、難しいパススキルもこなしていく。

次に全体を4チームに分けてミニゲームを行つた。それぞれに廣瀬、伊藤、六甲メンバーがコーチについてアドバイスをしていく。ユニット練習の成果を見せるチームもあれば、なかなか思い通りの動きができるないチームも。ハーフタイムのチームトークで修正し、見違えるプレーを見せていた。



伊藤鐘史（いとう・じょうじ）
1980年12月2日生まれ36歳。兵庫県神戸市生まれ。兵庫工業からラグビーをはじめ京産大→リコー→神戸製鋼。ポジションはセンター。日本代表キャップは36。エリート日本ではインアウェイなどのFWの中核として15年W杯に出場。スコットランド戦に出場した。プレリーグでは09年シーズンから地元の神戸製鋼に移籍。36歳になった今季も第一線で体を張り続ける、地元兵庫県が誇る“リアル・ロッカーチーム”である。

谷主将3年間の戦いのあと

